

# 作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埴田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



作新学院高等学校同窓会 第6回異業種交流会



## 文武両道

同窓会会長 安藤 寛樹(昭和45年卒)

作新学院同窓会の皆様、新年おめでとうございます。本年も昨年同様宜しくお願いいたします。

昨年を振り返ってみますと1月の新年祝賀会・新成人祝賀会に始まり、異業種交流会・ゴルフ大会・青年部主催によるバーベキュー大会など沢山の事業を行いました。

特に成人祝賀会には、400名を超える成人者及び同窓生が参加。来賓として船田学院長、学校関係者、佐藤明男衆議院議員、県議、市・町議会議員の方々もご出席、成人者にアドバイスをいただき熱気あふれる祝賀会でした。

また異業種交流会では、登録会員が136社まで増え、会場の丸治ホテルで“作新ワンチーム”で大いに盛り上がりました。

政治の世界では、船田先生を含め3名の国会議員、県・市議会議員の方は30名を超え国・地方議会において活躍をしていることは同窓会としても大変誇りに感じるところです。

また学生諸君の活躍も素晴らしいものがありました。部活動においては硬式野球が9年連続甲子園出場(ベスト8)、女子硬式野球が初優勝、書道部の高橋君が文部科学大臣賞を受賞。他の部活も良い成績を上げ、また学業においても昨年に続き現役東大合格など素晴らしい成績を残しました。また社会貢献活動においても多くの学生が参加。まさに文武両道・社会貢献活動の3本柱の活躍であり誠に喜ばしい限りです。

これまで同窓会では、各部活動に支援をしてきましたが、今年度“学業支援基金”を設立し初めて同窓会主催で“科学講演会”を開催。多くの学生が参加してくれました。

これからも母校作新学院の発展の為、しっかり支援して行きたいと思っております。

同窓会もこのように多くの事業を通し“一校一家”の精神のもと、学院と力を合わせ社会貢献活動を行っております。今後共皆様のご協力をお願いし、学院の発展と同窓生皆さんの1年の活躍とご健勝を祈念申し上げます。



## ワンチームの作新学院に

作新学院 院長 船田 元

令和元年秋に『大関作新館賞』の実行委員会が立ち上がりました。これは大関家黒羽藩の藩校『作新館』に因んで、大田原市黒羽の地元有志の皆さんが企画したもので、毎年栃木県内外で教育・学術・文化活動で顕著な活躍をされた方々を顕彰することを目的としています。

黒羽藩はとても開明的な藩で、特に第15代の殿様・大関増裕は江戸幕府末期の初代海軍奉行も務めました。その部下に江戸城無血開城の立役者・勝海舟がおり、彼が増裕に「作新民」の名を授けたと言われています。私たち作新学院は言うまでもなく、この『作新館』の名をいただいたわけですが、「新しき民を作る」という使命も、私たちの建学の精神となって受け継がれています。

この度の『作新館賞』は黒羽の皆さんの大関家に対する変わらぬ尊敬の念の表れであり、その名を使わせていただく学院としても、全面的に協力することとなりました。作新の名を大事にされている方々が数多く存在されることを知り、私たちは益々その名とその精神を、より一層大切に守らなければならないと肝に銘じました。

また先般はラグビーワールドカップ2019が日本で開催されましたが、私も含めたにわかラグビーファンも急増し、大変盛り上がりました。とても奥の深いスポーツだとあらためて感動しました。その立役者は何と言っても日本チームの大活躍であり、念願のベスト8で初の決勝トーナメント出場を果たしました。

ヘッドコーチはニュージーランド出身のジェイミー・ジョセフ氏で、選手31人全員が現在、日本のどこかのチームでプレーしています。日本人は16人、外国籍15人で、うち帰化した選手はキャプテンのリーチ・マイケルはじめ3人という多様なメンバーです。国籍もトンガ、ニュージーランド、サモア、プレトリア、オーストラリア、南アフリカ、韓国となっています。彼らは試合の様々な局面で、多様な個性を發揮して、困難を乗り越えて来ました。

しかし同時に多様な選手たちをしっかりと束ねて、一つの目標に向けて全員を動かしていくことに成功したようです。年間で270日も共同生活を経験し、さらにはヘッドコーチやキャプテンのリーチ・マイケルのリーダーシップによってそれは成し遂げられました。彼らの共通の合言葉は「ワンチーム」です。なんとこれも作新学院の校風である「一校一家」に通底するものではないでしょうか。この秋は「作新民」と「一校一家」の現代的な価値について、あらためて知らされる機会を持つことが出来ました。

### 学院近景







## オルガノンとしての学校

作新学院 副院長 塩野谷 英彦

令和元年、同窓会主催の講演会がトップ英進・英進部の中で呱呱の声を挙げた。同窓生の皆様の学業への支援が形となって現れた記念碑的瞬間であった。従来からのご支援が、さらに拡大していったことに深く感謝している。

「オルガン」という言葉がある。加圧した空気を送って音階を奏でる鍵盤楽器を思い出すのが一般的であろう。もともとは、ギリシャ語の「オルガノン」に由来し、道具・器官の意味である。アリストテレスは概念の整理・整序を通して行う思索の道具として論理学を考え、その死後『オルガノン(論理学)』が編纂された。下って、フランシス＝ベーコンは、帰納法の重要性を説いて、アリストテレスに替わる新しい論理学として『ノヴム・オルガナム』を著した。概念が相互に関連しあいながら統一された全体として機能していく論理とその法則は、言語の有機的な組織図そのものかもしれない。一つ一つの部品が巧妙に組み立てられ有機的に連関し合って音階を形成し、和音を構成していく。それが、鍵盤楽器としてのオルガンなのであり、わたしの身体も各器官それぞれが調和し合って生命体として機能している意味において「オルガン」なのだ。「オルガン」は道具であり、器官であり、機関であって、組織ともなる。

学校という組織は、生徒と教職員とで成り立っているのではないと、教壇に立って以来考え続けてきた。確かに、教える者と教えられる者という構造の中に、学校という有機的連合体はその存在的基盤が与えられているのは間違いない。ただ、学校というと校舎を思い浮かべるかもしれないが、校舎はあくまでも二次的な意味を有するだけで、古代ギリシャやヨーロッパ中世でも、学ぶ者が有能な教師の下に通うという構図の中で成立していった。ギムナシオン(ドイツの伝統的な中学校ギムナジウムの語源)は「体を鍛える」のが原義であり、ソクラテスはアテネ市内のギムナシオンを見て回って、「知とは何か」を説いたとプラト

ンの対話篇の作品群の中で活写されている。プラトンの学園がアカデメイアであり、その弟子アリストテレスの学園をリュケイオンという。リュケイオンはフランスの学校「リセ」という語のもととなった。アリストテレスは、自らの弟子たちと歩きながら議論したので、ペリパトス学派＝逍遙学派とも呼ばれ、そのスタイルは教育の本質を明示している。今日、ストイックstoicとは「禁欲的な」を意味するが、もともとはゼノンがアテネの広場の柱廊(ストア)で講義したことからつけられた名称である。中世の大学として、有名な講師陣たちのもとに学生が集い聴講料を支払って成立した。それゆえ、「学生の許可なしに講義を休むべからず」「教師は始鈴とともに講義を始め、終鈴とともに退出するべし」などを要求し、受け入れられない場合は聴講料を支払わず、謝礼で生活する教師を苦しめた。ユニバーシティ(大学)とは、学生たちの組合(ギルド)として発展してきたのである。

スクール(school)の語源はギリシャ語のスコレ(暇;ラテン語ではスコラ)に由来し、暇だから学問をし、そこに集った人々がいて学派を作り、学校となる。基本の図式は学ぶ者と教える者であることに変わりはない。だが、学校という現場では、教える者と教えられる者が、交流の電極のように瞬時にして入れ変わる局面が常に存在している。生徒が教師を鍛える現実がそこにはある。そのことによって成り立つ人間的な結びつきである。そうした歴史的な堆積物が同窓会として組織される。校舎が教師と生徒の統合体の象徴のように、学校と同窓会はある種のアレゴリーとして語られるはずである。その意味で、学校という組織は教師と生徒だけではない。

学校の伝統と誇りを、同窓会によって吹き込んでいただけることを祈念している。

### 学院近景



# 同窓生紹介

## さまざまな分野で活躍する同窓生!



### ラグビーの魅力と作新

栃木県議会議員  
栃木県ラグビー協会会長

吉羽 茂

(昭和42年卒)

私は昭和42年に卒業しました吉羽 茂です。作新学院在学中はラグビー部に在籍、県下各種大会(新人、関東予選、国体予選、全国予選)等すべて優勝を果たしました。

卒業後は大東文化大学にラグビー特待生として入学しました。当時大学の経営方針のもと、スポーツ強化による知名度、魅力度アップのため、ラグビー部と陸上競技部(駅伝)が強化部に指定されて、全国から優秀選手を選抜して強化、競技力向上を図りました。

厳しい練習と合宿所生活で、食事から掃除、洗濯まで1年生が交替で担当しました。

4年後、私は主将に任命され、練習から合宿所生活まで4年生を中心に改革に着手、上級生が率先垂範、生活、学業、練習全般を見直しました。

最後の秋のシーズンでは大東文化大学初の全国大学選手権ベスト8に輝き、大学スポーツ特別賞の栄誉を受賞することができました。

卒業後、母校作新学院社会科教員として採用され、コーチ、監督として全国大会12回、関東大会30回出場することができたのは、選手の努力は勿論、保護者、OB会、学院のサポート、そして、先生方の理解と協力、活力に満ちた学院一体となって応援していただいたおかげであると思っております。感謝の言葉しかありません。

今年「ラグビーワールドカップ」2019日本大会が9/20～11/2まで44日間にわたり、世界20ヶ国代表が集い、全国12都市で開催されました。日本代表が初のベスト8に輝き、その活躍はラグビーの魅力と感動を人々に与えました。

『ラグビー精神とは』

ONE FOR ALL・ALL FOR ONE、ノースサイドの精神、フェアプレーの精神、リスペクト(尊敬)することにあります。

私が現在、栃木県議会議員として活動できるのも、日本一の作新学院の歴史、伝統、誇り、そして『一校一家』の校風に脈々と受け継がれていることにあります。

同窓生の深い絆と愛校心はラグビースピリッツ「ONE FOR ALL・ALL FOR ONE」と同じものであると思います。

最後に作新学院の益々の発展、隆盛と同窓生のご多幸ご健勝を祈念申し上げ挨拶と致します。



### 勝つことよりも 大切なこと

レーシングドライバー

山本尚貴

(平成19年卒)

今年32歳を迎える僕は、モータースポーツの世界に飛び込んで27年目を迎えます。6歳で初めてゴーカーに乗ったあの日から「F1ドライバー」「プロのレーサー」を目指して我武者羅に走り続け、プロになって早10年が経ち、一つ夢を叶えることができました。この27年間で、いま改めて振り返ると、まさに目の前をあっという間に通り過ぎていくレーシングカーを見ている様な気分になります。この27年という期間に数え切れない程のレースに参戦して来ました。簡単に見積もっても400戦以上は戦って来ました。その中で何回勝つことが出来たのか定かではありませんが、一つ言えることは圧倒的に負けたレースの数の方が多いということです。これは決して胸を張って言える様な物事ではありませんが、この負けた数こそが、今の自分を作り出してくれたと思っています。もちろん勝つことでしか見られない世界や、得られない感情があるのは間違いありませんし、勝ち続けることが出来れば、それに越したことはありません。

しかし、負けた時に感じる「悔しさ」は爆発的な起爆剤となり、勝つこと以上に次なる戦いへのモチベーションともなります。ただし、負けた戦いを経験し、悔しさを感じれば次勝てるのかと言えばそれは絶対にはありません。最も大切なことは、その負けた戦いを素直に受け入れてどうして勝てなかったのかを真摯に受け止めて、分析することだと思っています。人はどうしても楽な道を選びがちです。でもその楽な道を選ばなかったからこそ、昨年もう一つの夢であった「F1」に日本GPで乗ることができたのかなと思っています。見てくれている人は必ずいるんですよ。

これからも作新学院の卒業生として、アクセルを踏み続けていきます!

作新学院 親交会

会長 荒井 祥

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

作新学院高等学校 P・T・A

会長 片柳 二郎

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811



## 船田元先生の議員生活40周年を祝して

同窓会副会長 三村 松司 (昭和35年卒)

作新学院長の船田元先生の「政治生活40周年を祝う会」が昨年10月25日、宇都宮市のグランドホテルで盛大に行われました。

当日は台風の影響による大雨が朝から降り続いていましたが、支援者など約千人が雨をものともせず駆けつけ、元先生の青年時代から老・壮年時代に至る40年間の政治生活を讃えるとともに、今後の更なる活躍を期待する声が上がりました。

元先生は、慶応大学大学院に在籍し、母校作新学院の講師に就いていた昭和54年4月に、祖父で二度の衆議院議長と防衛庁長官等を歴任した船田中先生が急逝。元先生によると当時、父譲先生が後継者で、祖父の引合い合戦にと漠然と思っていたが、栃木県知事として翌年の栃の葉国体も控え、健康に不安を抱えていたため、元先生にお鉢が回ってきて、同年10月(第35回総選挙)に急遽出馬することとなりましたが、若干25歳で栃木1区(当時は中選挙区制、定員5人)で初当選を飾った。

ちなみに1位は渡辺美智雄氏、3位は森山欽司氏=いずれも自民。4位は広瀬秀吉氏、5位は稲葉誠一氏=いずれも社会。

元先生によると、この選挙は自民党が惨敗した選挙で、大平内閣の責任が問われ、党内抗争が活発化、元先生も政争の渦に巻き込まれ、生の政治力学を体験し、将来の良い糧になっていた。その後中選挙区では通算5回当選し、家業である私学経営のため、教育問題、文部行政に関心を寄せるようになったのは大きな収穫だったという。

その後総務政務次官(現在の副大臣)、文部政務次官。

そして平成4年には、それまでの最年少記録だった田中角栄郵政大臣の39歳10か月を超えて、39歳1か月で国務大臣の経済企画庁長官に就任した。

元先生のライフワークは憲法である。党青年局時代から関心を持ち始め、船田イコール憲法改正と言われるほど、国会の中で本格的に関与したのは、平成12年スタートの憲法調査会から、目配り、気配りを重視して、国会では丁寧な議論を尽くし、多くの政党との合意を目指していくという。

元先生は、現在当選12回の自民党の重鎮です。1979年(S54)の第35回総選挙から2017年(H29)の第48回総選挙まで14回の選挙で、残念ながら2度落選の憂き目を見ています。

私共同窓会は、今後予想される総選挙には、必死で頑張っていきたいと思います。



## 同窓会主催科学講演会の開催について

英進部 理科主任 森 照代

9月24日(火)、国立環境研究所の江守正多先生による科学講演会「地球温暖化と私たちの未来」を実施しました。吉高神同窓会副会長、天野同窓会事務局長が出席し、吉高神同窓会副会長の挨拶から会が始まりました。講演会では、私たちが直面している気候変動について、映像を交えて分かりやすく解説していただき、地球環境の問題は、経済や政治の問題でもあり、すべての人たちと関わりのある問題であることを認識しました。映像で紹介された2050年の天気予報の内容が最近の予報と似ていて、気候変動が急速に起きていることに危機感を感じました。今回の講演を通して生徒たちは、気候が変わることで、社会の常識、社会生活が大きく変わることを実感し、すぐに対策が必要であることや、私たちが気候変動とこれからどう向き合えばよいのかを考えるきっかけとなったと思います。

講演を聞いた生徒からは「気候変動・温暖化の対策を人任せにせず、気候の変化をしっかりと認識し対応するために、今できること考え、アクションを起こしたい」などの感想がありました。



作新学院高等学校同窓会

## 平成31・令和元年度 定時総会

総務企画部副部長 古谷 祥一 (昭和58年・35回卒)

平成31・令和元年度作新学院同窓会定時総会は、6月14日ホテルニューイタヤで、船田元学院長・作新大学渡辺学長・吉羽県議会議員・各市議会議員等多くのご来賓のご臨席のもと、約80人の同窓生が参加し開催されました。

総会では、鈴木勲副会長(昭和38年卒)の開会宣言の後、会場に掲げられた「作新学院旗」のもと、全員で校歌を斉唱しました。安藤寛樹会長(昭和45年卒)の主催者あいさつでは、文武両道、社会貢献を掲げる母校作新学院が、2年連続して東京大学への合格者が生まれ、他の国公立大学・難関私立大学への進学実績も飛躍的に伸びている現状や、硬式野球部の8年連続の甲子園出場をはじめ、各部活動の輝かしい実績の報告がありました。

また、生徒自身が自主的にはじめた西日本豪雨災害への支援活動等、母校のたゆまぬ進化にOBとしての喜びと感謝の気持ちを述べ、出席者に新たにご審議頂く「文への支援策」について理解を求めた。また参議院選挙全国比例区に挑む卒業生に、「一校一家」の精神のもと同窓生で応援して行きましようといきさつを締めくくりました。

来賓として出席された船田元学院長の祝辞では、来年初立135周年を迎える作新学院の記念事業として、卒業生にもなじみの深い円形体育館の建て替え計画が進行中であること、アフリカの子供たちに1万足の靴を送るプロジェクトが、15,000足集まりタンザニアの子供たちに送り終結したこと、戦火の中のアフガニスタンの子供たちにランドセルを送って応援しようと

いう新たな取り組み等、学院の現状紹介がありました。また、スポーツ界で活躍する卒業生、政界で活躍する卒業生を取り上げ、その更なる活躍に期待するとともに、それらを後押しする同窓会と作新学院は、お互いに協力しあって、がんばっていきましよう」と祝辞を締めくくられました。

議事は、青年部の小林大介(平成12年卒)さん、石川嵩史(平成15年卒)さんを議長団に選出し審議に入りました。

- 
- 第1号議案・平成30年度事業報告並びに決算について
  - ・平成30年度基本特別会計報告について
  - 第2号議案・同窓会基本財産特別会計の取り崩しについて
  - 第3号議案・平成31・令和元年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
  - 第4号議案・参議院議員選挙全国比例区候補 角田 充由君の同窓会推薦について
- 

第1号～第4号議案まで慎重審議の結果、原案通り承認され、新体制の同窓会役員の見直しとあいさつの後、吉高神渡副会長(昭和45年卒)の閉会のことばで、定時総会は恙なく終了しました。



(株) 安藤設計(一級建築士事務所)

<http://ando-sekkei.jp/>

代表取締役会長 安藤 英夫(昭和43年卒)  
 代表取締役社長 安藤 寛樹(昭和45年卒)  
 取締役総務部長 安藤 篤史(平成9年卒)  
 宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

1952年創業 あなたの街の「ぜいりし」さん

尾花税務会計事務所

税理士 尾花一浩(平成元年卒) 税理士 尾花兼司(平成2年卒)  
 〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2

ご相談専用ダイヤル ハロー オバナ  
 0120-806-087





## 作新学院高等学校同窓会

## 第45回 新年会・新成人祝賀会の開催について

事務局長 天野辰美 (昭和45年卒)

同窓会では、平成31年1月12日(土)「作新学院高等学校同窓会 第45回 新年会・新成人祝賀会」を、宇都宮市内のホテルニューイタヤに於いて開催いたしました。参加者は、302人の新成人とご来賓・教職員の皆さま・同窓生など400人となり盛大な祝賀会となりました。鈴木勲同窓会副会長の「開会の言葉」に続き、「作新学院歌」を全員で斉唱しました。安藤寛樹会長の主催者あいさつの後、新成人者代表 松本 悠<sup>ほるか</sup>さん、池田光<sup>みれい</sup>嶺さんに安藤会長・福田副会長から花束の贈呈を行いました。

船田元学院長の来賓祝辞では、本年の大きな行事として5月に行われる「御代替わり」「新元号」にふれ、新成人の皆さんにとっても、穏やかで期待あふれる時代が続くことをご祈念されました。続いて昨年<sup>こぞ</sup>の文武両道、社会貢献の三本柱の実績の一つとして、春の進学実績に触れ、東京大学に3名が合格したこと、東北大学に現役7名の生徒が合格したことをあげ、難関校への進学実績の著しい飛躍を披露しました。また、1月に山崎製パンと作新学院との商品開発により、新製品として「作新学院オリジナルランチパック」が販売され、「スクランブルエッグからしマヨネーズ風味」のコンセプトは皆さんが3年生の時に甲子園でも金、リオのオリンピックでも金、作新生はみんな「金のたまご」とし、最後に「大切な人生、悔いのない人生を送ってください」と社会の荒波に船出する新成人にエールを送りました。

新年会・新成人祝賀会後の懇親会では、はじめに「甲子園での優勝・リオでの金メダル」のDVDが放映され、会場では参加者全員で、改めて皆で喜びを分かち合いました。続いてアトラクションとして定番になったプロの卒業生ダンスチーム「BALM(バルム)」のパフォーマンスで会場は大いに盛り上がり、平成29年卒業の新成人者と、進学や就職により、それぞれの目標に向かって成長する教え子たちの姿を見るためにご参加頂きました40人を超える担任の先生や教職員の皆さんを中心に輪が広がり、お互いの元気な姿を喜び合い、再会を誓い合い、盛況のうちに祝賀会はお開きとなりました。



手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高神渡 (昭和45年卒)

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

電気工事・通信工事・設計施工

中央電機通信株式会社

代表取締役 設楽厚夫 (昭和47年卒)

宇都宮市中戸祭1丁目9番12号 TEL 028-622-9331

## 「作新祭」に参加して

文化厚生部部長 遠藤 盛 (昭和58年卒)

同窓会は文化厚生部を中心に、令和元年9月6日(金)～7日(土)「まささらな時代にたゆみなき未来を拓け」というテーマのもと開催された、創立134周年記念「作新祭」に参加しました。同窓会売店定番商品の「新三の餃子」が製造中止になり、販売が出来なくなりましたが、事前会議において参加者や来訪者に喜ばれ、なお且つ生徒たちの企画と競合しない商品をとという基本方針を堅持し、人気商品のパンデパルクのパンや出来立てポップコーン、昨年から新たに加えた「フランクフルト」「揚げ餅」の販売数量を増やすことで、この窮地を乗り切ることとしました。その甲斐があつて同窓会ブースは、行列が絶えないほどの好評を得ました。生徒たちの手で自主運営されたエネルギッシュなイベントが、野外特設ステージで次々に開催され、これを取り囲むように校庭には生徒達によって60近くのそれぞれに工夫を凝らした模擬店が出店された。この「作新祭」への参加によって、教職員の皆さんや在校生たちに同窓会という組織を身近

に感じて貰い、また間もなく同窓会会員となる生徒達と少しでも同じ思いが共有できたことに、OBとして喜びを感じる二日間となりました。



## 作新学院高等学校同窓会『第6回 異業種交流会』



異業種交流会 吉川 泰行 (平成2年卒)

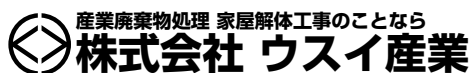
令和元年10月30日(水)ご来賓として作新学院学院長の船田元先生に出席を賜り、ホテル丸治にて開催された同窓会第6回異業種交流会の報告をさせていただきます。

異業種交流会は、作新学院高等学校同窓会の活動の一環として卒業生の裾野を広げるため、また活動の若返りや交流を広げるために毎年開催されています。

交流会では、学院歌斉唱のあと、安藤同窓会会長の主催者挨拶、船田学院長の来賓祝辞をいただき、世話人代表として本澤崇実行委員長(平成2年卒)による異業種交流会の趣旨説明が行われました。乾杯の後には、初参加された方々の挨拶をいただき、たくさんの企業や職業に卒業生がいることに改めて作新学院のパワーを感じさせられました。

また、この時は「ラグビーワールドカップ日本大会」の真っ只中でもありました。交流会時には日本は惜しくも敗退してしまっておりましたが、予選通過のベスト8と過去最高の成績を残してくれました。ここでラグビー部OBの阿久津和哉さん(昭和62年卒)が登壇して、これまでの日本代表の戦いぶりの解説、そしてこれから行われる3位決定戦・決勝戦の見どころと優勝チーム予想などラグビー談義をいただきました。

50名の参加をいただき活動の裾野が広がってきていると感じておりますが、作新学院高等学校の卒業生は14万人とまだまだ可能性を秘めております。次回開催時にはお知り合いの卒業生と誘い合っただご参加よろしくお願いたします。



産業廃棄物処理 家屋解体工事のことなら  
**株式会社 ウスイ産業**  
代表取締役 白井伸太郎 (平成5年卒)  
栃木県宇都宮市北若松原2-11-7 TEL 0285-56-8720

## 株式会社コスモ鋼業

代表取締役 遠藤 盛 (昭和58年卒)  
宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330  
s-endo@cosmo-kogyo.co.jp



## 東京作新会の活動

東京作新会会長 君島孝夫 (昭和40年卒)

作新学院高等学校同窓会のみなさま、お元気でお過しのこととお慶び申し上げます。

東京作新会は半世紀以上の歴史を持ち、東京近郊の作新学院同窓生が年に一度集まり、親睦を深め作新学院の文武のご活躍と船田元先生の教育活動、政界での動向に会員一同期待と誇りを持って応援しております。東京作新会会員も高齢化により参加者も年々少なくなっておりますが、ここ数年は若手の卒業生や新たに参加される先輩方々の作新学院生活を聞きながら大いに盛り上がっております。

また昨年の総会には同窓会より安藤寛樹会長様、天野辰美事務局長様にもご参加頂きまして有難うございました。出席できない会員の皆様からは近況報告を数多く寄せられています。卒業生の誰もが作新学院を母校に持った事を誇りに思っております。

作新学院の卒業生の方(東京近郊の方)・・随時入会をお待ち致しております。「ご連絡下さい」



東京作新会 世話人

世話人 君島孝夫 連絡先 ☎0123-57-7811

相場啓介 ☎03-5453-1616

柿沼秀毅 ☎03-5711-8311

女性部 海藤政子 ☎048-269-2020

落合明子 ☎03-3392-7032

松山文子 ☎070-3624-3024

## 作新学院「二里山会」について

二里山会会長 高橋光男 (昭和54年卒)



作新学院は今年、創立135周年の節目の年を迎えます。その長い歴史と伝統ある作新学院を巣立ち、再び母校に戻って奉職した教職員の親睦団体が「二里山会」です。作新学院の前身である下野英学校が県庁東側の二里山(現在の栃木県立図書館付近)に所在していたことに由来

し名付けられました。

現在の会員数は、幼稚園から大学短大まで合わせて145名。内訳は、高等学校75名、中等部12名、小学部7名、幼稚園10名、事務局21名、大学短大教職員20名で、作新学院教職員全体の約3分の1に相当する数になります。また、今年度は高等学校に5名、幼稚園に1名の新会員が加わりました。先生から生

徒に、先輩から後輩へと伝統のバトンが確実に受け継がれていることを大変嬉しく思います。

二里山会の主な活動は、年1回開催の「総会」と、ご退職された方の送別会および新加入会員の歓迎会を兼ねた「懇親会」の開催があります。今年度は、7月19日(金)に学内で総会を行い、懇親会は9月17日(火)二里山に程近いニューみくらで開催されました。ご多忙中にもかかわらず、学院長先生や同窓会幹部の皆様のご臨席を賜り、和やかな雰囲気のもと、楽しいひとときを過ごすことができました。普段は他の設置校の方々と親睦を図ることが少ないなかで、二里山会での交流はとても貴重な機会といえます。

私たち二里山会員は、母校の教壇に立つ者としての責任を胸に、相互の連携を深めながら学院ならびに同窓会の更なる発展に少しでも貢献できれば幸いです。

Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

取締役会長 伴 清 (昭和35年卒)

代表取締役 伴 誠 (昭和62年卒)

生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)

宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525

HOTEL NEW ITAYA

<http://www.newitaya.com/>

四屋 拓郎 (平成6年卒) 手塚 智美 (平成14年卒)

渡辺 真絢 (平成24年卒) 小島恵梨佳 (平成26年卒)

宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511

## 第4回 親睦ゴルフコンペの開催について

広報部 中島一晴 (平成5年卒)

令和元年11月7日(木) 広報部主催により、「第4回親睦ゴルフコンペ」を日光市・鬼怒川カントリークラブにて開催しました。秋の色が深まる日光連山を背景に天候にも恵まれた中、安藤寛樹会長をはじめとして総勢36名の同窓生が参加し、日頃のゴルフの腕前を競い合いました。

プレー終了後、同会場にて表彰式を兼ねた懇親会を開催しました。パーティーでは、安藤寛樹会長の開会のごあいさつから始まり、表彰式では入賞者にはその成績をたたえ、たくさんの豪華賞品が授与されました。

腕に自信のある方はもちろん、ゴルフが得意でない方も気軽に参加でき、先輩や後輩、同級生と同じ作新学院同窓生として交流を深めることができます。次回は更に参加者を増やして開催したいと思いますので、たくさんの作新学院同窓生の友人知人をお誘いあわせのうえ、ご参加をお願いしたいと思います。

### 結果

- 優勝：宇賀神真一 さん (昭和57年卒)
- 2位：星 雅之 さん (昭和49年卒)
- 3位：菊池 清二 さん (昭和53年卒)
- ベストスコア：星 雅之 さん スコアー83



## 第3回 バーベキュー大会の開催

同窓会青年部 渡辺奉行 (平成14年卒)

令和元年7月6日(土)、同窓会青年部主催「第3回バーベキュー大会」が開催されました。バーベキューと言えばビール。ビールのおいしいうちに開催してほしいという要望もあり、7月初旬の開催となりました。気持ちのよい初夏の日差しの中で、同窓生やその家族など57名ほどが参加し実施されました。このバーベキュー大会は、広く作新同窓生全体の交流を図ることを目的としたものであり、同窓生同士の交流はもちろんのこと、その家族や子どもたちの参加をひろげ『一校一家』を基本路線とした行事となっております。

食材の海鮮関係は、当日早朝に茨城県的那珂湊まで青年部で買出しに行き、新鮮な魚介類を安く大量に仕入れてきました。お肉関係は、市内の大手食肉販売店のご協力を得てこれまた安く良いものを仕入れることが出来ました。また、前日から煮込んだカレーも好評で、あっという間に売り切れてしまいました。このバーベキュー大会のメインの牛ヒレ肉の一本焼きには、なんといっても他では見られない迫力があり、焼きあがるまで多くのカメラマンのインスタ映えする被写体になりました。希少部位であるシャトーブリアンのお味も最高級、会場の雰囲気も大変な盛り上がりを見せました。

今回は、子供たちを連れた多くの家族参加が見込まれたことから、空調のきいた子供専用のお遊びスペースの準備や、お菓子の用意など、家族ぐるみで参加する人々への配慮を事前会議で十分検討しました。そんな中で小さな子供たちのスイカ割りタイムとなり、あまり見かけなくなったゲームとしてのスイカ割りに子供たちは大はしゃぎとなりました。

多くの方が家族とともに参加し、タイムスケジュールに沿った日々の日常から離れ、あの頃の作新の仲間たちと語り合う時間は、何物にも代えがたいものであることを改めて感じました。これからも同窓生の交流の場として継続し続けたいと思っておりますので同窓生の皆様のご参加をお待ちしております。



**(有) 坂本商店**(業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 坂本 昭 (昭和31年卒)

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003  
FAX 028-632-9148

**太平産業開発株**(太陽光発電事業)

代表取締役 熊倉 正敏 (昭和35年卒)

宇都宮市上小倉町2616-1 ☎028-624-2156



## 第6回 部活動OB・OG会の開催

組織財政部長 櫻井 英治 (昭和57年卒)



平成25年4月、作新学院高等学校同窓会活動の一環として、「部活動OB・OG会の各種集まりを支援しながら、在校中に様々な部活動に所属していたOB・OGの卒業生と連携を密にし、さらなる選手・生徒たちの躍進を応援する」目的で発足した「部活動OB・OG会」も、今年で7年目を迎えました。

令和元年11月27日(木)第6回部活動OB・OG会が、来賓として船田元作新学院長、高橋総合進学部長、金田情報科学部長、渡辺トップ英進部副部長、吉羽茂県議会議員(ラグビー部元顧問・同部OB)、黒子英明宇都宮市議員(自転車競技部OB)をお迎えして、67名が参加しホテルニューイタヤで盛大に開催されました。安藤同窓会会長の主催者挨拶では、全国大会での各部活の活躍に敬意を表するとともに、この会の発足の経緯に触れ、更にその

目的に向かって「一校一家」の精神で、オリンピック・栃木国体に向け団結を図っていきましようと呼びかけました。なお先日行なわれた役員会で、選任された、大久保恵一新会長に、着任の御挨拶をいただきました。

顧問の先生方は、岩嶋硬式野球部顧問、三橋吹奏楽部顧問、前田体操部顧問、山本自転車競技部顧問、宮内応援団顧問に、授業や部活動指導等お忙しい中ご出席を頂き、各部活のOB・OGと意見交換をおこないながら、更に親睦を深めていきました。

各部活動の活動報告では、2020年の東京オリンピック、2022年本県で開催される国民体育大会に「作新の風」を吹きおこすと、力強い報告が相次ぎました。

令和元年の各部活動の輝かしい活躍につきましては、本誌をご参照していただき割愛致しますが、部活動OB・OGの皆様、熱く燃えた青春時代の「夢」を現役選手・生徒諸君に託すため、これからも「一致団結」していきましょう。

## バスケットボール部 OB・OG会 活動

バスケットボール部「己の会」  
幹事 長尾 宏美 (平成13年卒)

バスケットボール部では、令和元年11月23日に第7回作新学院バスケットボール部「己の会」を開催致しました。

顧問の渡邊明美先生をはじめ、選手、保護者、OB・OGと総勢100名弱で午前中は追悼試合で現役生と共に汗を流し、夜はやきとり家竜鳳本店にて行われました。

昨年、10月26日～11月4日に行われた、高等学校バスケットボール選手権大会県予選会(2019ウィンターカップ予選)で、3年ぶり見事優勝を勝ち取り、明美バスケのモットーである「全員バスケット」で全国大会の切符を勝ち取りました。また、10月4日～8日に茨城県で行われました国民体育大会では、監督を務められました渡邊明美先生をはじめ、作新学院の卒業生である小池久美子先生(姿川中教諭)がアシスタントとし、また選手5名が選抜され、全国3位と素晴らしい成績を取られるなど、お祝い尽くでした。

それに加え、現役生による余興、顧問明美先生の

26年間の思い出ムービー、ウィンターカップに出場する選手へ向けたムービーを流すなど、涙あり笑いありの作新バスケットボール部らしい会でした。

現役生から来年の抱負を聞き、己の会もまた一つ結束を固め、いい時も悪い時も寄り添う会である事を胸に誓い後輩たちを激励致しました。

作新学院同窓会会長をはじめ、皆様にまた良い報告が出来ます様、選手、己の会一丸となって闘っていく次第でございます。



### イマイズミ (宝石・貴金属)

リフォーム・修理もご相談下さい。 今泉貴金属 検索

代表取締役会長 今泉 臣夫 (昭和37年卒)

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

### 北都電工株式会社

代表取締役 会長 荒井 健次

取締役 社長 荒井 博幸 (平成2年卒)

宇都宮市上野町6076番地15 TEL 028-662-1542 FAX 028-663-4112

### 宇賀神工業 株式会社

代表取締役 宇賀神 真一 (昭和57年卒)

宇賀神 勇人 (平成23年卒)

鹿沼市千渡1605-88 ☎0289-64-4141  
ugajins1@ninus.ocn.ne.jp



(総合建設業)

### 中村土建株式会社

代表取締役社長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)  
宇都宮市大曾4-10-19 tel028-622-6581

今年成人を迎えられる卒業生


 トップ英進部  
英進部


 ご成人おめでとうございます。

晴れて成人の日をお迎えの皆様、誠におめでとうございます。ならびに今日までお子様のご成長を見守ってこられたご家族の皆様にお祝い申し上げます。

皆様は、英進部とトップ英進部の新体制が発足した春にご入学されました。在学中は変革が進む中、戸惑いもありましたでしょうが、心を同じくする仲間とともに高校生活の充実とご自身の進路目標に向かって邁進されました。その弛みない努力は、現在も後輩たちに受け継がれています。旧担任一同、過ぎし日々のあれこれがしみじみ思い出されます。皆様は前途洋々です。将来の糧となる学習や社会生活に勤しみ、逞しく未来を切り開いてください。ご多幸を心よりお祈り申し上げます。


平成29年度 トップ英進部・英進部 第3学年主任 野中昭宏・渡辺 巧



平成29年度卒業時の第3学年担任の先生方

**小林建築設計事務所(一級建築士事務所)**

代表 小林 基 (昭和48年卒)

宇都宮市宝木町2-944-13 ☎028-652-1770  
m-koba@moon.ucatv.ne.jp**仲田総業株式会社**<http://www.nakada.tv>代表取締役社長 仲田陽介 (平成3年卒)  
宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151**(株)山登塗装工業(建築・塗装・吹付工事)**

 取締役会長 酒井康雄 (昭和43年卒)  
代表取締役 酒井宏泰 (平成8年卒)

宇都宮市砥上町247-4 TEL 028-648-3116

**(有)川口写真館**

代表取締役 川口修一 (昭和44年卒)

宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641



今年成人を迎えられる卒業生

総合  
進学部

ご成人おめでとうございます。

新成人として輝かしい未来に一步を踏み出された皆さん、ご成人おめでとうございます。また、今日まで常に深い愛情を持って立派に育て上げられた保護者の皆様、ご家族の皆様にも敬意を表するとともに、重ねてお喜びを申し上げます。

元号が令和となって初めて迎える成人の儀は、東京開催のオリンピックとも重なることで一生忘れることのない年になると思います。長い人生に折り返し地点というものはなく、同じ日が二度来ることありません。現状に満足することなく、失敗を恐れずに挑戦する気持ちを持って充実した日々を積み重ねてください。挑戦と失敗の積み重ねが自己を強くし、真の大人へと成長させてくれます。

現在の日本は、自然災害の多発、人口減少や超高齢社会、国際情勢や経済問題など、たくさんの困難や課題を抱えています。だからこそ、明るい未来は自分たちで切り拓く気概が大切となります。どんなことも他者に依存するのではなく、自ら問題を解決する方法を考えて行動することを期待しています。困難に挫けることなく、自分の信じた道を自分らしく歩み続けることを願っています。

平成29年度 総合進学部 第3学年主任 四元 俊一

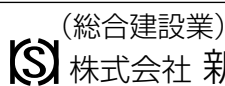


平成29年度卒業時の第3学年担任の先生方



割烹弁当の老舗

株式会社 新三(しんざ)

代表取締役 鈴木郁夫(昭和24年卒)  
宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

(総合建設業)

株式会社 新生工業  
代表取締役 櫻井 英治(昭和57年卒)  
宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502

 株式会社  
関東ツアーサービス株式会社  
外山文昭(平成11年卒)

宇都宮市築瀬4丁目25-5 ☎028-614-4377

代表取締役会長 関 正三(昭和24年卒)  
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32  
TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579

今年成人を迎えられる卒業生

情報  
科学部

ご成人おめでとうございます。

令和になって最初の成人式を迎えられる卒業生の皆様、並びに、これまで溢れんばかりの愛情を注いでお子様方を育ててこられた保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。英語には「Time flies.」時間は飛んで行ってしまふ、ということわざがありますが、保護者の皆様にとっては、長い年月であるはずの20年という時間が、不思議なくらいに短い時間であったように感じられているのではないのでしょうか。また、3年間学院での生活を送った卒業生の皆様は、自分たちの高校生活があつと言う間の出来事であった事を再認識されていることでしょう。

皆様が高校生活を振り返る時、沢山の楽しい思い出に浸れる人、勉強や部活動を通して辛い思いをした人など、様々だと思ひます。それらの体験は必ず、これからの自分にとっての糧となるはずですし、ともに笑い苦しんだ仲間は、自分にとってのかけがえのない宝物になっていきます。

作新学院は、その名が日本全国に知れ渡っている学校です。その卒業生としての誇りを持ち、高校時代の友人を大切にしながら、それぞれの人生を歩んで行ってください。

平成29年度 情報科学部 第3学年副主任 小長谷 久



平成29年度卒業時の第3学年担任の先生方



(総合建設業)

**末長建設株式会社**

代表取締役 末長 修一 (昭和57年卒)  
宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675

**(株)本澤建築設計事務所**<http://www.honzawa-net.co.jp/>

代表取締役 本澤 崇 (平成2年卒)  
専務取締役 本澤 淳 (平成5年卒)  
宇都宮市川田町1223-27 ☎028-645-0607

**日建工業株式会社**

代表取締役 吉川 泰行 (平成2年卒)

宇都宮市岩曾町179-4 ☎028-625-5021  
FAX 028-625-7523  
E-mail : yasuyuki@nikken-kogyo.jp

**(有)朋友塗装工業(建築・塗装・吹付工事)**

代表取締役 小野 朋之 (昭和61年卒)

宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082  
FAX 028-639-7220

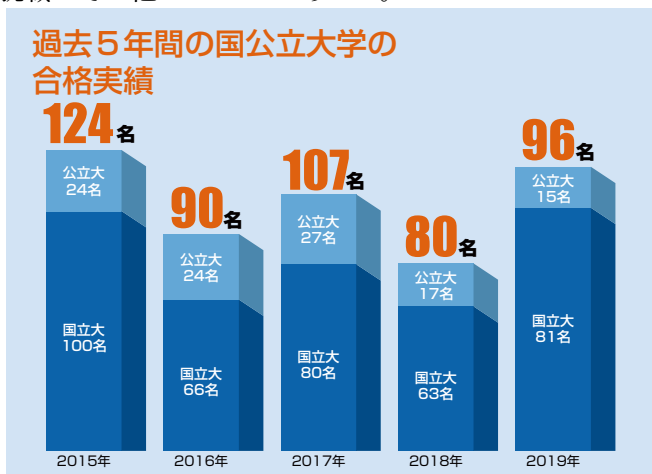


# 昨年度の進路状況

## 東京大学1名 理科I類 2年連続 現役合格

～ 東北2・金沢(医)1・九州3(歯1)・筑波3など国公立大学に96名  
 慶應・早稲田・上智・東京理科・MARCHレベル以上の難関私大に45名が合格!!～  
 信州大に4名・宇大に16名合格 医学部医学科に3名が合格

平成30年度の卒業生1,224人の進路の内訳は、4年制大学に546人、短期大学に57人、専門学校(予備校を含む)に325人が進学し、就職・その他は296人であった。進路の割合は、大学や専門学校への進学は75.8%、就職・その他は24.2%であった。



平成31年度入試の国公立大学合格者は、96人(国立大学81人<うち現役72人>、公立大学15人<うち現役13人>)であった。主な合格大学としては、東京大学1名・東北大2・金沢大(医)1・九州大3・東京藝術大2・筑波大3・千葉大1・埼玉大4・新潟大2・信州大4・茨城大2・山形大6・横浜市立大1・高崎経済大3などが挙げられる。このうち、東京大学は、2年連続での理科I類現役合格であった。東北大学は、文学部1人、理学部1人がいずれも現役合格を果たした。地元の宇都宮大には、教育学部3人・地域デザイン科学部2人・工学部8人・農学部3人の計16人が合格を果たした。

一方、私立大学における主な合格大学としては、慶応大3・早稲田大1・上智大1・東京理科大6・立教大3・明治大9・青山学院大3・中央大9・法政大3・学習院大1・同志社大4・立命館大2・芝浦工業大10・明治学院大5・日本大52・東洋大25・駒澤大8・専修大7・川崎医科大(医)1・埼玉医科大(医)1・日本歯科大(歯)1・東京薬科大(薬)2・城西大(薬)2・国際医療福祉大(薬)3などが挙げられる。

専門学校への進学は、「地元志向」が強く進学者の8割が県内の専門学校である。特に医療系(看護・歯科衛生、

技工・理学療法・放射線など)、次いで保育、公務員コース、美容、調理系などに進学した。医療系は4年制大学から変更した生徒が多くみられるのが特徴である。また外国語など語学分野やダンス、ゲームクリエイターなどに進学する生徒が見られる。専門的に学ぶことで、将来活かせる資格を取得することを目標に堅実な進路選択をしている。専門学校は多岐の分野があり、行きたい専門学校を選び未来を見据えた進路選択をし、合格を果たした。

就職に関しては、今年度の求人企業数は昨年同様、約2,000社にのぼる数となった。傾向としては、人手不足が深刻化する建設業・運輸業・製造業での求人が多く見られた。この3業種の最前線で活躍できる人材を期待して、高校生の「売り手市場」が続いていると考えられる。また、医療・福祉・自動車整備分野における深刻な人手不足もまだまだ続いている状況となっている。昨今、就職戦線では「コミュニケーション能力」「仕事に対する意欲」「十分な基礎学力」「面接での表現力」が求められる傾向にある。学院では学年ごとにキャリアガイダンス、インターンシップによる就業体験、人事担当者および関係機関(ハローワーク、労政事務所など)による「企業が求める人材、求められる人材」などの就職講話、外部講師による「ビジネスマナー」、卒業生による体験談など、多くのキャリア教育を実施している。これらの取り組みが功を奏し、早い時期に昨年の内定率を上まわり、3月末には100%の内定率を達成することができた。

平成30年度卒業生 進路

部	進路		卒業者	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校 (予備校を含む)	就職 その他
	男	女						
ト ッ プ 英 進 部	男	136	112	265	0	21	3	
	女	107	95	227	2	10	0	
	総数	243	207	492	2	31	3	
総 進 学 部	男	272	172	180	2	61	37	
	女	230	96	100	39	71	24	
	総数	502	268	280	41	132	61	
情 報 科 学 部	男	287	47	47	0	82	158	
	女	192	24	24	14	80	74	
	総数	479	71	71	14	162	232	
総 計	男	695	331	492	2	164	198	
	女	529	215	351	55	161	98	
	総数	1224	546	843	57	325	296	

運動部 sports

大会主な成績 全国大会上位入賞部

在校生【インターハイ】

ボクシング部(男子) 2019年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)ボクシング競技大会(7/28～8/3宮崎県宮崎市)

学校対抗：第5位

個人：優勝

〔フライ級〕平塚 駿之介(情2)

個人：ベスト8

〔ミドル級〕井出 一志(総2)

弓道部(男・女) 2019年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)弓道競技大会(8/7～10宮崎県都城市)

個人：第5位

(男子)石川 瑛都(総3)

個人：第6位

(女子)中村 真李(総3)

陸上部(男子) 2019年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)陸上競技大会(8/5～8沖縄県沖縄市)

第6位

〔4×100mリレー〕野口 祐叶(総2)

カトラル・ニール・マイケル(総2)

古島 匠稀(総3)

マデロ・ケンジ(情2)

バドミントン部(女子) 2019年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)バドミントン競技大会(8/1～2熊本県八代市)

シングルス：ベスト8

杉村 南美(総3)

【国体】

ゲートボール部(女子)第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」ゲートボール競技大会 女子(8/31～9/1茨城県行方市)

優勝 → 県勢初優勝

正村 陽(情3) 大島 果純(情3) 福島 有紀乃(情3)

バスケットボール部(女子)第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」バスケットボール競技大会 少女女子(10/4～8茨城県水戸市)

第3位

齋藤 衣吹(総2) 古谷 彩(総1) 水沼和佳菜(総1)

五月女優羽(総1) 平山 優華(総1)

【全国大会】

硬式野球部第101回全国高等学校硬式野球選手権大会

ベスト8

女子硬式野球部第23回全国高等学校女子硬式野球選手権大会(7/26～8/2兵庫県丹波市)

優勝 → 初優勝

ゲートボール部(男・女)第24回全国ジュニアゲートボール大会(8/24～25埼玉県熊谷市)

女子1部クラス：優勝

正村 陽(情3) 福島有紀乃(情3) 大島 果純(情3)

山川 彩奈(情3) 豊田 叶侑(総2)

男子1部クラス：第3位

田井 智貴(総3) 河内 椋吾(総2) 吉川 泰正(総2)

山荷 秀太(総2) 吉田 翔(総2) 佐藤 大心(総2)

河内 翔吾(情2)

第35回全日本ゲートボール選手権大会

(9/28～29滋賀県長浜市)

優勝→全国1229チームが参加し、真の日本一を決める大会において、二連覇を達成。

正村 陽(情3)

パワーリフティング部(男・女)

第37回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会(8/4埼玉県さいたま市)

女子団体：準優勝

個人：第2位

(女子)

〔47kg級〕内野 伶(総1)

〔63kg級〕金田 結衣(総3)

〔+72kg級〕森田 愛己(総3)

第3位

(男子)〔93kg級〕吉澤 悠(情3)

第4位

(女子)〔63kg級〕渡邊 千佳(総1)

関東自動車(株)

塩田 和也(昭和63年卒)

高梨 義久(平成3年卒)

小島 英将(平成13年卒)

宇都宮市築瀬4丁目25-5 ☎028-634-8131

総合建築資材商社

株式会社白木屋

代表取締役 黒崎 裕康(平成3年卒)

宇都宮市天神1-1-33 ☎028-633-3327

http://www.shiroki-ya.jp/ FAX 028-633-0792



福宮建設株式会社(総合建設業)

専務取締役 福田 裕(平成4年卒)

宇都宮市鶴田町1462-1 TEL 028-648-7070(代)



(総合建設業) 芳賀屋建設株式会社

代表取締役 関 明彦(昭和61年卒)

宇都宮市築瀬4-12-28 TEL 028-638-2000



ボクシング部



今年1月から、新体制でスタートしたボクシング部は、穏やかな環境づくりや部員・保護者様が気軽にものごいえる雰囲気づくりから始めました。また肝心の技術指導については、ボクシング部OBで元プロ選手、2015年から作新ボクシング部の外部コーチとしてご指導いただいている齋藤大胤先生に、引き続き外部コーチとして、生徒の技術面ほかをご指導いただいております。今年度、齋藤コーチは、ご本人もいろいろ葛藤はあったはずですが、プロの資格を返上するという並々ならぬ覚悟で作新ボクシング部再生のため、生徒の指導を引き受けてくださいました。先生の口癖は「選手ファースト」と「全員優勝」です。齋藤先生の優しさに満ち溢れた指導の中にも、生徒一人ひとりの個性や性格を見極め、生徒の自主性を尊重し、継続できる徹底した技術指導は、大会で結果を出すことで生徒・保護者からも高い評価を得て、現在のボクシング部にとって無くてはならない指導者となっております。



今年の宮崎インターハイでは、大関潤(総3)・齋藤夢胤(情3)・平塚俊之介(情2)・井出一志(総3)の4名が出場し、「学校対抗5位」に入賞しました。また、個人では、井出君がミドル級「全国ベスト8」、平塚俊之介君がフライ級で「全国優勝」し、作新学院ボクシング部の名を全国にとどろかせることができました。今年のボクシング会

場では「あの作新が…」と声に出して言われるほどのアウエの雰囲気の中で、生徒たちが全国一を命がけで奪い取ってくれたことに、たいへん感動すると同時に、胸をなでおろしたのが正直なところでした。平塚君は、今年関東大会・インターハイともに優勝し、U18に選出されアジア大会に出場しました。また、12月末には、第1回東西対抗戦に東のチャンピオンとしての出場が決定しています。齋藤コーチと平塚君の相性は抜群で、共に穏やかな中に秘めた闘志を燃やし「世界一」を狙っています。齋藤コーチから見た平塚君は、「終始リズムのよいフットワークと左ジャブで試合の流れを組み立て、右ストレートのカウンターで相手のリズムを崩していける試合運びができる。疲れている時でも、ギアを上げて動ける強い精神力を持っている。」など、さらなる活躍を確信していらっしやいます。

また、秋の県新人戦では、作新ボクシング部から出場した8名中7名の選手が「優勝」し、関東選抜の切符を手にすることができました。平塚君は、すでに暫定チャンピオンとして、全国大会出場の権利を獲得しています。

最後になりますが、日頃の練習や各種大会では、小松OB会長様はじめ、小牧副会長様、伊澤県連会長様ほかボクシング部の幅広い世代を越えた先輩方が、練習や応援に駆けつけていただいております。現在の作新ボクシング部を盛り上げ、活動を継続するための大きな「力」となっています。また、総合進学部高橋光男部長先生におかれましては、精神的「支え」となっております。部員・保護者・顧問(コーチ)一同、衷心より深く感謝申し上げます。

《記 顧問・橋本克子(総教)》



医療法人(社団)荒川歯科クリニック

理事長 荒川 敏明 (昭和48年卒)  
宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

藤田勝春法律事務所

弁護士 藤田 勝春 (昭和35年卒)  
宇都宮市清住 3-1-14 ☎028-625-3266

NETIS登録

KT-100005 防草緑化挿し芽植栽工法

株式会社 落合東光園

代表取締役 落合 功 (昭和37年卒)

事務所/河内郡上三川町中子921 ☎0285-56-3751

花と園芸

(株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝 (昭和35年・商3回卒)

宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

女子硬式野球部

全国制覇 第23回全国高等学校女子野球選手権大会



女子硬式野球部は、第23回全国高等学校女子硬式野球選手権大会において、創部7年目にして、春夏を通じて初の全国制覇を成し遂げました。

今年のチームは、遠征試合を多くこなし実践で力を付けてきました。3年生の最後の夏にかける意気込みは非常に高く、誰もが優勝を目ざし大会に臨みました。

大会は台風の影響で順延もあり、決勝までは5連戦となりました。

1回戦の京都外大戦は、2回に一挙4得点を入れる一方、投手陣はエース角田と1年生の川上で、相手打線を3安打の完封リレーで抑えました。

2回戦の大体大浪商戦は、初回到5連打を集中させ4点を先制し、その後も追加点を挙げて11対1で大勝しました。

順々決勝は昨年覇者の京都両洋です。試合は接戦となり、1点をリードされて最終回を迎えます。先頭打者の上岡の安打からチャンスを広げると、1死一、二塁から海老沼がライトの頭を超える二塁打を打ち二者が生還し、劇的なサヨナラ勝ちを収めました。この一戦を終え、このチームで優勝が狙えると確信しました。

準決勝の相手は札幌新陽で、先発は3年生の上岡です。初回、無死一塁から海老沼が右中間に二塁打を放つと、スタートを切っていた関が一塁から一気に生還し、先制

点を挙げることに成功しました。さらに4番・生井と5番・金子の連続適時打で3得点、2回以降も攻撃の手を緩めず加点してリードを広げ逃げ切り、初の決勝進出を果たしました。

決勝の相手はセンバツで延長の末に敗戦した履正社です。先発の角田が3回に先制を許しますが、直後の攻撃で同点としました。その後2点を追う最終回には金山のヒットを契機に2死満塁のチャンスをつくると、海老沼が2点適時打を打ち、土壇場で試合を振り出しに戻しました。なおも2死一、二塁で本間がセンター前に適時打を打ち、サヨナラ勝ち。

誰もが最後まで諦めない気持ちでいたからこそ、劇的な逆転サヨナラで優勝を決めることができたと思います。これまで、一生懸命に努力してきたことが、最高の形で結実することにつながりました。

応援していただいたみなさまに感謝するとともに、これからも女子野球に作新の風を吹き起し続けられるよう頑張ってまいります。今後とも応援よろしく願いいたします。 女子硬式野球部 顧問 木原 将



文化部 culture

大会主な成績 全国大会上位入賞部

書道部

第43回全国学生書写書道展

席書の部：文部科学大臣賞

高橋 佑佳(総2)

公募の部：特別名誉大賞

印南 遥(英2)

第28回国際高校生選抜書展 (書の甲子園)

[主催] 毎日新聞社、毎日書道会

優秀賞 → 全体の第3位相当

高橋 佑佳(総2)

入選 → 全体の第5位相当

石田 茜音(総3) 鈴木 杏菜(総3) 手塚 圭(トップ英2)

秋澤 悠太 (情2)

※世界各国・地域から13,905点の応募の中から選出されました。 ※作品は、令和2年1月28日(火)～2月2日(日)、大阪市立美術館に展示されます。

その他

第11回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト

(主催：東京理科大学 東京理科大学理窓会)

高校部門：優良賞 → 全体の3番目、6位タイ。

「アボカドを用いた新規レクチンの探索」

西連地 秀斗(ト英3) 荒川 那由他(ト英3)

岡本 裕大(ト英3) 濱崎 真白(ト英3)

山下 礼(ト英3)

金田商会

代表取締役 金田真麒(昭和35年卒)

宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

金箱工設株式会社(総合設備業)

代表取締役 金箱忠司(昭和46年卒)

宇都宮市雀宮町118-4 ☎028-653-6603

info@kanebako.co.jp

うつのみやCSRまちづくり貢献企業



## ●吹奏楽部

去る10月6日に小田原アリーナで第25回東関東マーチングコンテストが開催され、白組(コンクールメンバーではないチーム)を中心とする48名で出場しました。100名超の部員が所属しているため、7月から10月にかけてはコンクールに出場する青組と2チーム体制で活動します。白組の部員のモチベーションを上げ、下級生中心でも自覚を持たせ、次年度へ向けてのレベルの底上げも目指してのことです。この白組には青組のメンバーに入れなかった6名の3年生がいました。例年3年生であっても青組で大会に出場できない部員がいます。メンバー発表直後はショックを受け、悔し涙を流しますが、その後は見事にリーダーシップを発揮し、白組をひとつのチームとしてまとめあげるのに大活躍しました。

マーチングでは、演技・フォーメーションの善し悪しはもちろんのこと、同時にサウンドの美しさや音楽性も求められることから、むしろコンクールよりも大変かもしれません。楽譜を暗譜し、コンテ(自分自身の割り当てられたマーチングの動きを記したものを覚えなければなりません。しかも、練習環境も劣悪です。基本的に直射日光が降り注ぐ炎天下のモニュメント広場や蒸し風呂状態の体育館での練習になるので座奏より全ての面においてハードです。練習前にはポイントを貼る作業にも手間がかかります。また、メンバーの衣装、小物、カラーガードの旗の制作や修繕などにも労力が必要です。この作業には親御さんたちが協力してくれています。2度のコンサートとマーチングコンテストの前には、毎週末の休日を返上し、大勢の親御さんたちが来校し、サポートしてくれます。親父たちは主に力仕事に汗を流し、お袋たちは縫製作業を担当します。作業中には互いの子どもの話題で会話が弾み、親御さん同士の情報交換の場となっており、より部活動への理解が深まるという利点があります。子どもたちと同様に部活動を文字通り楽しんでいるようです。

まさにマーチング活動は親子も一体となって活動を謳歌していると言えます。そしてまた人を育ててくれます。その中心となった6人の3年生たちは大活躍し、光り輝くことができました。大会の結果は銀賞でしたが、全員が笑顔で表彰式に臨みました。

今年度の各種大会での成績ですが、第61回県吹奏楽コンクールでは高校の部D部門(下級生のチーム)は金賞、A部門は35年連続47回目の金賞を受賞。第25回東関東吹奏楽コンクールでは6年連続19度目の金賞を受賞。第41回県高等学校総合文化祭総合音楽祭吹奏楽部門では吹奏楽部会長賞(1位)を6年連続受賞。第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会では8年連続最優秀賞を受賞しました。第32回栃木県マーチングコンテストB部門で金賞を受賞。第25回東関東マーチングコンテストで銀賞を受賞しました。

結びに、私たち作新学院高等学校吹奏楽部は人を育てる

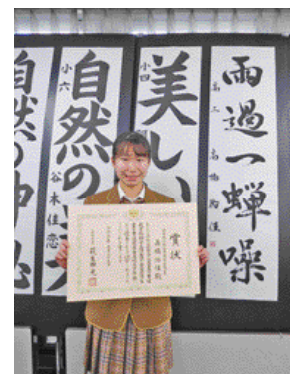
ことが活動の柱であり、このことを忘れてはならないとの思いで、これからもこの思いを大切に活動していこうと思います。



## ●書道部

### <第43回全国学生書道展>

(全国書道教育振興会主催) 席書の部で、総合進学部2年の高橋佑佳さんが最高賞に当たる文部科学大臣賞を受賞しました。英進部2年の印南遥さんは公募の部で2位に当たる特別名誉大賞に選ばれました。書道部では過去に2名受賞していますが、女性は初めてで、1位2位のダブル受賞は珍しいことです。



この展覧会は幼児から大学生を対象に作品を募集し、制限時間内に課題作品を制作する「席書の部」と自宅などで書いた作品を応募する「公募の部」があります。今年は席書の部に3837点、公募の部に4336点の応募がありました。

第54回高野山競書大会において、総合進学部3年の石田茜音さんが全国4位に当たる金剛峯寺賞を受賞しました。8月2日、高野山金剛峯寺に招待され、表彰式に参列しました。総出品点数は118448点で、東京高輪の高野山東京別院でも展示されました。

9月21日、和プロジェクトTAISHI主催の第3回9.21世界平和の祈り奉納揮毫を、護国神社にて行いました。

国連が定めた国際平和デー(9月21日)に全国四十七社の護国神社と広島平和記念公園で書家による平和揮毫を行うイベントです。今回は全国から推薦された27の高校書道部が各県の護国神社で一斉に揮毫奉納を行いました。

宮司さんの一斉祈祷を受けて、書道部1・2年7名が「令和」の大字と万葉集の文を3×4メートルの和紙に書き上げました。その後、書家の小野崎啓太先生が1.5メートル四方のパネルに「祈」の一字を一気に書き上げて記念撮影となりました。

Beyond2020プログラムの公認イベントでもある一斉行事に参加し、歴史や平和について考える貴重な機会となりました。

## 総合建設業 株式会社 鱒淵建設

代表取締役 鱒淵 孝男  
取締役 鱒淵 智行(平成11年卒)  
建築部 小牧 英夫(昭和56年卒)  
宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261

## 「現役東大合格者」への記念品贈呈

平成31年3月18日(月)、トップ英進・英進部全体集会において、昨年の入試で東京大学現役合格を果たした石川亮太さん(文科二類)、本間弘暉さん(理科一類)、2人に続いて今年度に現役合格を果たした薄井真之さん(理科一類)に対し、同窓会から記念品が贈られた。

同窓会では、今まで行ってきた運動部関連への激励金贈呈に加え、今年度からは文化面での顕著な活躍や教育活動に対して、同窓会費から補助支援を行うことになった。その最初の寄贈対象者として、2年間にまたがって「現役東大合格」を果たした3名が選ばれた。

「学院の宿願を果たしてくれた皆さんのご努力に敬意を表すると共に、益々のご活躍を期待しています」と同窓会幹部から激励された3人は、凛とした面持ちで肯いていた。晴れがましい笑顔と共に、自らの力で未来の扉を開いた自信と誇りが窺えた贈呈式となった。



石川亮太さん



薄井真之さん

本間弘暉さん

## 作新経済同友会の活動

作新経済同友会 須藤 宏明(平成7年卒)

作新経済同友会は、同窓会の役員を歴任した方々を中心となって、同窓会と連携を取りながら、異業種の会員による幅広い交流によって会員相互の親睦と経済的な地位向上を目的として活動しております。活動内容は毎月一回の定例会と、季節ごとのイベントを実施しております。

今年の定例会では、多種多様な話題が上がりました。特に今年は県内でも大規模災害となった台風被害の状況、今後の栃木県としてどのような災害対策を講じていくのかなど、暮らしに直結するお話を会員である県会議員の方から聞かせていただきました。また、初の試みとして、茶道研修会を下野市にある竹楓園「和喜庵」にて開催いたしました。



私は今まで抹茶は観光地でちょっと飲んでみたことがある程度でした。今回初めて作法や茶碗に始まる茶道具や掛け軸などの意味を一つ一つを丁寧に教えていただきました。特に驚いたのは

私の中で抹茶といえばこれだと思っていた、鮮やかな青緑色のお茶が薄茶で、さらに濃い「練った」と表現してもよさそうなお茶の濃茶を初めて飲ませていただき大変驚きました。

最近では手軽なお菓子などにも抹茶が使われていますが、知っているようで知らないお茶の世界を垣間見ることができました。

毎年恒例で行っている視察研修旅行は宮城県にある航空自衛隊松島基地を見学しました。

この松島基地は全国の自衛隊基地で行われている航空祭で活躍しているブルーインパルスが所属していることでも有名です。前の東京オリンピックで大空に五輪の輪を描いたのもこの部隊です。

見学時にも二機がアクロバット飛行訓練を行っており、背面飛行や宙返りなどを見ることができました。

また、この基地は東日本大震災で津波が押し寄せその強い水圧で大きくゆがんだベンチなどが残されており、改めて防災について考えさせられました。

作新経済同友会はこのような活動を行っています。ご興味をお持ちいただけましたらぜひ事務局までご連絡ください。皆さんのご参加をお待ちしています。

### 同窓会組織 (執行役員)

- 会長 安藤 寛樹 (昭和45年卒)
- 副会長 三村 松司 (昭和35年卒)
- // 鈴木 勲 (昭和38年卒)
- // 吉高神 渡 (昭和45年卒)
- // 小牧 英夫 (昭和56年卒)
- // 渡辺 毅 (昭和50年卒)
- // 高橋 光男 (昭和54年卒)
- // 福田 勝江 (昭和31年卒)
- // 尾花 一浩 (平成元年卒)

- 事務局 長 天野 辰美(昭和45年卒)
- 総務企画部 部長 小池 国夫(昭和45年卒)
- 組織財政部 部長 櫻井 英治(昭和57年卒)
- 広報部 部長 渡邊 幸雄(平成4年卒)
- 文化厚生部 部長 遠藤 盛(昭和58年卒)
- 青年部 部長 安藤 篤史(平成8年卒)

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp/>

E-mail:sakushin-dousoukai@sakushin-ogob.gr.jp